

社団法人 日本雪氷学会
2006 年度通常総会資料

期日： 2006年5月15日 (月)

場所： 幕張メッセ国際会議場101A

社団法人日本雪氷学会
2006年度通常総会次第

1. 開 会

2. 議長および議事録署名人の選任

3. 議 事

第1号議案 2005年度事業報告、収支決算及び監査報告の承認に関する件

(1) 事業報告 (2) 収支決算 (3) 監査報告

第2号議案 2006年度事業計画及びこれに伴う収支予算について

(1) 事業計画 (2) 収支予算

4. 議長の解任

5. 2006年度井上フィールド科学研究基金助成対象者発表

6. 著作権の学会への委譲についてのお願い

7. 閉 会

第1号議案 2005年度事業報告並びに収支決算書承認に関する件

(1) 事業報告

1. 研究会等の開催（定款第5条2号）

- 1-1. 2005年度全国大会を9月27～30日に旭川市科学館および旭川市クリスタルホールで開催した。研究発表（参加者：330名，発表：234件），公開講演会（参加者：203名）。
- 1-2. 第16回雪崩対策の基礎技術研修会を1月19～20日に新潟県湯沢町で開催した。参加者：34名。
- 1-3. 公開シンポジウム「雪から学ぶ」を10月1日に旭川市科学館で開催した（文部科学省平成17年度科学研究費補助金による）。参加者：1,555名。
- 1-4. 特別講演会「雪氷圏と気候」を5月27日に東京都千代田区「日本化学会化学会館」で開催した。参加者：45名，発表：7件。
- 1-5. 各支部・分科会等において研究会等を開催した。

2. 会誌等の刊行（定款第5条3号）

- 2-1. 和文誌「雪氷」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成17年 5月15日	67	3	1500部
平成17年 7月15日	67	4	1400部
平成17年 9月15日	67	5	1400部
平成17年 11月15日	67	6	1400部
平成18年 1月15日	68	1	1400部
平成18年 3月15日	68	2	1400部

- 2-2. 平成18年1月に英文誌「Bulletin of Glaciological Research (BGR)」Vol.23を400部発行した。
- 2-3. 北海道支部で機関誌「北海道の雪氷」24号を刊行した。
- 2-4. 東北支部で機関誌「東北の雪と生活」20号を刊行した。
- 2-5. 北信越支部で機関誌「雪氷北信越」25号を刊行した。

3. その他の事業（定款第5条4号）

- 3-1. 日本雪氷学会学会賞の表彰を3氏に対し行なった。

学術賞（1名） 青木 輝夫

技術賞（1名） 斎藤新一郎

平田賞（1名） 井上 聡

- 3-2. 中谷宇吉郎科学奨励賞の候補者を推薦した。
- 3-3. 4支部が各種活動を行なった。
- 3-4. 当法人に設置された分科会，研究会，懇談会が各種活動を行なった。
- 3-5. 井上フィールド科学研究基金による研究助成を2件行なった。

3-5. 新潟県中越地震発生後、日本雪工学会との合同により設けた「新潟県中越地震・雪氷災害調査検討委員会」による活動報告会ならびに公開討論会を行なった。

3-7. 各種講演会等の共催（3件），協賛（5件），後援（5件）を行なった。

3-8. 学会ホームページによる情報発信を行い，また大会参加登録と入会申込の電子化を行なった。

4. 総務事項

4-1. 2005年度通常総会1回，理事会4回，評議員会1回を開催した。

通常総会 2005年5月27日

第1回理事会 2005年5月27日

第2回理事会 2005年8月19日～9月7日（文書審議理事会）

第3回理事会 2005年9月28日

第4回理事会 2006年3月17日

評議員会 2005年9月29日

4-2. 各委員会が活動を行なった。

- | | | |
|------------|-----------|---------|
| ① 総務委員会 | ② 財務委員会 | ③ 学術委員会 |
| ④ 事業委員会 | ⑤ 雪氷編集委員会 | ⑥ 広報委員会 |
| ⑦ BGR編集委員会 | ⑧ 電子情報委員会 | |

会員数の推移は以下の通りである。

	2005.3.31	2006.3.31
正会員	954	940
名誉会員	15	14
終身会員	30	34
特別会員	22	19
賛助会員	93	84
購読会員	132	134

北海道支部

1. 支部総会の開催（北大学術交流会館 4月20日）
2. 春の講演会の開催（北大学術交流会館 4月20日 講演：2件 参加者：80名）
3. 研究発表会の開催（北大学術交流会館 6月29日 発表：22件 参加者：120名）
4. 機関誌「北海道の雪氷」24号（350部）の刊行
5. ニュースレターNo.22の刊行
6. 地域講演会の開催（紋別市文化会館 2月22日 参加者：70名）
7. 積雪調査法実習（北大低温研構内 2月4日 参加者：13名）
8. 理事会・幹事会等会議の開催
9. 支部ホームページの運営

東北支部

1. 支部総会の開催（岩手大学工学部同窓会館一祐会館 5月13日）
2. 研究発表会の開催（岩手大学工学部同窓会館一祐会館 5月13, 14日 発表：24件）
3. 特別講演会の開催（岩手大学工学部同窓会館一祐会館 5月13日 講演：1件）
4. 平成17年度青森豪雪災害シンポジウムの開催（弘前大学50周年記念会館 7月7日）
5. 積雪観測講習会の開催（青森大学5号館 2月18日）
6. 機関誌「東北の雪と生活」20号の刊行
7. ニュースレターNo.32, No.33, No.34, No.35の刊行
8. 2005年度東北雪氷賞の表彰（2件）
9. 理事会・幹事会等会議の開催

北信越支部

1. 2005年度北信越支部総会の開催（5月21日 富山大学）
2. 研究発表会・製品発表検討会の開催（5月21日 富山大学 参加者：85名）
3. 講演会の開催 なし
4. 見学会の開催
第11回雪形ウォッチング（5月7, 8日 石川県加賀市 参加者：47名）
5. 学習会の開催（4月1日 アトリウム長岡 参加者：58名, 8月30日 新潟大学積雪地域災害研究センター 参加者：18名, 11月7日 防災科学技術研究所長岡雪氷防災研究所 参加者：13名）
6. 講習会の開催
積雪断面観測講習会（新潟県長岡市 防災科学技術研究所長岡雪氷防災研究所 参加者：

- 14名)
7. 各種共催事業 (1件)
 8. 後援事業 (1件)
 9. 機関誌「雪氷北信越」25号の刊行
 10. 北信越支部ホームページの更新
 11. 2005年度北信越支部賞の表彰 (2件)
 12. 理事・幹事合同会議の開催 (2回)
 13. 顧問・評議員会の開催 (1回)

関東・中部・西日本支部

1. 支部総会の開催 (4月8日 関西電力 京都電力所)
2. 雪氷サロンの開催 (第11回 7月8日 学士会館 参加者:8名, 第12回 10月14日 学士会館 参加者:6名, 第13回 12月16日 学士会館 参加者:8名, 第14回 3月17日 学士会館 参加者:31名)
3. 講演会の開催 (関西分会講演会 7月6日 総合地球環境学研究所 参加者:12名, 関西分会講演会 12月12日 総合地球環境学研究所 参加者:18名)
4. 関西分会学習会の開催 (1月14日 近畿大学農学部 参加者 (午前実験 28名, 午後講演会 29名))
5. ニュースレターNo. 69 の発行 (2006年1月13日)
6. 支部役員会の開催1回 (4月8日 関西電力 京都電力所)

氷河情報センター

1. 総会の開催 (9月27日 旭川市)
2. ミニシンポジウムの開催 (9月27日 旭川市)
3. Bulletin of Glaciological Research (BGR) のバックナンバーの電子化, および電子化公開のための情報収集
4. 世界各地の氷河研究に関する資料等の収集
5. 雑誌「雪氷」67巻3号掲載の氷河情報センターニュース No. 27 ならびに WEB を通じての氷河情報の提供
6. 氷河の研究・調査活動に対する援助と啓蒙

極地雪氷分科会

1. 総会・ミニシンポジウムの開催 (9月27日 大雪クリスタルホール 旭川市 参加者:44名)

2. 各ワーキンググループによる研究推進

- 1) 第VI期南極観測 WG
- 2) 第2期ドーム計画研究委員会
- 3) 南極航空機構想 WG

凍土分科会

1. 総会・研究会の開催 (9月29日 旭川市 総会・講演・研究会 参加者：14名)
2. スモールセミナーの開催 (6月10日 札幌市 スモールセミナー 参加者：15名)

雪崩分科会

1. 総会・研究会の開催 (9月27日 旭川市 講演：3件 参加者：33名)
2. 雪氷学会主催「第16回雪崩対策の基礎技術研修会」開催協力(新潟県湯沢町 参加者：34名)
3. ニュースレターNo. 35, 36の刊行
4. 企画研究に対する助成 (1件)
5. ホームページの更新と管理
6. 雪崩分科会メーリングリストの運営と管理

雪氷物性分科会

1. 総会・2005年度雪氷物性シンポジウムの開催 (9月29日 旭川市 講演：2件 参加者：15名)

衛星観測分科会

1. 総会・研究会の開催 (9月27日 旭川市 気象水文分科会・衛星観測分科会合同講演会の開催 講演：6件 参加者：38名)

雪氷工学分科会

1. 総会 (第13回) の開催 (9月27日 旭川市 参加者：30名)
2. 雪氷工学の歴史を残す講演会の講演記録編集
3. 「雪氷工学の歴史Ⅲ」の出版準備
4. 着氷雪研究会(共同研究推進のための検討, IWAIS 開催に向けたアンケート調査・分析, 役員への送付)
5. ホームページの更新 (<http://www.seppyo.org/~sesig/>)

雪氷化学分科会

1. 総会・講演会の開催（9月29日 旭川市 講演：1件 参加者：29名）
2. 雪氷化学研究集会の企画
3. ホームページの更新

気象水文分科会

1. 特別講演会の開催（5月27日 東京 講演：7件 参加者：45名）
2. 総会・講演会の開催（9月27日 旭川市 講演：6件 参加者：35名）

吹雪研究会

1. 研究会の開催（9月27日 旭川市 参加者：22名）

(2) 収支決算

2005年度収支計算書(案)
通常会計
2005/04/01～2006/03/31

(収入の部)

(単位円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B)-(A)	備考
1. 基本財産運用収入	809,360	838,859	29,499	
基本金利息	369,360	375,600	6,240	
井上基金利息	440,000	463,259	23,259	
2. 会費収入	13,522,500	12,852,600	-669,900	
正会員会費	7,165,500	6,855,000	-310,500	
特別会員会費	750,000	640,000	-110,000	
賛助会員会費	3,790,000	3,440,000	-350,000	
購読会員会費	1,692,000	1,848,600	156,600	
分科会会費	125,000	69,000	-56,000	
3. 事業収入	8,725,000	8,117,564	-607,436	
全国大会収入	3,000,000	2,855,500	-144,500	
研修会収入	1,135,000	1,110,000	-25,000	
広告収入	440,000	635,000	195,000	
出版収入	4,150,000	3,517,064	-632,936	
4. 助成金	1,000,000	1,090,000	90,000	
公開シンポジウム	1,000,000	1,090,000	90,000	
5. 内部移管勘定	1,360,000	1,419,622	59,622	
交付金支部収入	1,310,000	1,310,000	0	
事業収支差額(収入)	50,000	109,622	59,622	
広告支部受け取り金	0	0	0	
6. 資産勘定からの繰入	0	0	0	
敷金差額	0	0	0	
7. 雑収入	442,387	390,840	-51,547	
中谷奨励賞選考委託	300,000	300,000	0	
受取利息	2,387	326	-2,061	
雑収入	140,000	90,514	-49,486	
当期収入合計 a	25,859,247	24,709,485	-1,149,762	
前期繰越収支差額	16,801,831	17,643,809	841,978	
収入合計 b	42,661,078	42,353,294	-307,784	

(支出の部)

(単位円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B)-(A)	備考
1. 事業支出	16,988,000	13,533,205	-3,454,795	
全国大会支出	3,000,000	2,855,500	-144,500	
研修会等支出	2,735,000	2,216,314	-518,686	
出版支出	10,103,000	7,528,467	-2,574,533	
賛助配布予稿集	200,000	153,079	-46,921	
中越地震調査委員会	100,000	91,866	-8,134	
学会ホームページ	0	65,611	65,611	
褒賞費	210,000	242,368	32,368	
研究助成費	740,000	380,000	-360,000	
2. 管理費	12,074,510	11,601,237	-473,273	
事務費	2,064,510	2,395,123	330,613	
給与等人件費	4,020,000	3,718,384	-301,616	
家賃・共益費	3,292,000	2,922,000	-370,000	
委員会費	1,218,000	939,415	-278,585	
会議費	1,290,000	1,245,042	-44,958	
役員選挙費	0	0	0	
支払い手数料	135,000	146,067	11,067	
雑費	55,000	235,206	180,206	
3. 内部移管勘定	1,360,000	1,419,622	59,622	
交付金本部支出	1,310,000	1,310,000	0	
事業収支差額(支出)	50,000	109,622	59,622	
広告支部受取金	0	0	0	
4. 資産勘定への繰入	0	7,470,000	7,470,000	
当期支出合計 c	30,422,510	34,024,064	3,601,554	
当期収支差額 a-c	-4,563,263	-9,314,579	-4,751,316	
次期繰越収支差額 b-c	12,238,568	8,329,230	-3,909,338	

(注)資金の範囲は、現金預金とする。

正味財産増減計算書(2005年4月1日から2006年3月31日まで)

科目	金額	
I. 増加の部		
1. 資産増加額		
固定資産増加額	7,470,000	
流動資産増加額	243,819	
流動負債減少額	268,957	
増加額合計		7,982,776
II. 減少の部		
1. 資産減少額		
当期収支差額	9,314,579	
流動資産減少額	108,300	
流動負債増加額	3,164	
減少額合計		9,426,043
当期正味財産増加額		-1,443,267
前期繰越正味財産額		61,859,241
期末正味財産合計額		60,415,974

貸借対照表

(2006年3月31日現在)

科目	金額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金	192,949	
預貯金	7,350,217	
振替口座	786,064	
未収金	4,344,600	
棚卸資産	2,243,323	
流動資産合計		14,917,153
2. 固定資産		
基本財産		
地方債	41,230,000	
基本財産合計		41,230,000
その他固定資産		
支部・分科会活動支援基金	7,470,000	
敷金	2,115,000	
電話加入権	149,968	
その他固定資産合計		9,734,968
固定資産合計		50,964,968
資産合計		65,882,121
II. 負債の部		
1. 流動負債		
前受金	5,416,000	
預り金	50,147	
流動負債合計		5,466,147
負債合計		5,466,147
III. 正味財産の部		
正味財産		60,415,974
(内当期正味財産増加額)		-1,443,267
負債及び正味財産合計		65,882,121

(注)1. 有価証券は、取得価格で表記した。

2. 資金の範囲は、現金預金とする。

3. 基本財産の増減はない。期末残高は41,230,000円

4. 支部・分科会活動支援基金の期末残高の内訳は次のとおり

本部:3,000,399円 北海道支部:380,000円 東北支部:107,000円

北信越支部:510,000円 関東以西支部:1,392,000円 氷河情報センター:913,000円

極地雪氷分科会:140,000円 凍土分科会:11,588円 雪崩分科会:900,000円

雪氷物性分科会:66,013円 雪氷工学分科会:50,000円

社団法人日本雪氷学会 財産目録
2006年3月31日現在

科 目	金 額		
1.資産の部			
1.流動資産			
現金預金			
現 金			
本部	1,839		
本部(編集委員会)	0		
北海道支部	53,122		
東北支部	0		
北信越支部	89,061		
関東以西支部	11,502		
氷河情報センター	0		
極地雪氷分科会	0		
雪崩分科会	18,129		
雪氷工学分科会	19,296		
雪氷物性分科会	0		
凍土分科会	0		
		192,949	
預貯金			
本部:三井住友銀行 飯田橋支店 6321723	5,522,078		
三井住友銀行 飯田橋支店 6802408	1,127,678		
通常郵便貯金	6,861		
北海道支部:北洋銀行 北7条支店	91,436		
東北支部:秋田銀行 郡山支店	148,104		
通常郵便貯金	18,027		
北信越支部:北越銀行 大島支店	132,813		
関東以西支部:通常郵便貯金	120,525		
氷河情報センター:東京三菱銀行 板橋支店	80,922		
極地雪氷分科会:通常郵便貯金	35,386		
雪崩分科会:通常郵便貯金	66,387		
雪氷物性分科会:通常郵便貯金	0		
		7,350,217	
振替口座			
本部:00150-8-134091	451,248		
本部:00130-0-776480	0		
東北支部:02330-8-14680	126,394		
北信越支部:00610-9-4671	3,500		
極地雪氷:02780-6-26837	0		
雪崩分科会:00670-0-26949	200,948		
雪氷物性:00740-8-2771	0		
雪氷工学:00510-2-72971	3,974		
		786,064	
未収金			
本部	4,344,600		
未収会費	4,147,000		
その他未収金	197,600		
		4,344,600	
棚卸資産			
本部	2,079,523		
北海道支部	26,460		
東北支部:	82,250		
北信越支部	55,090		
関東以西支部	0		
		2,243,323	
流動資産合計			14,917,153

社団法人日本雪氷学会 財産目録
2006年3月31日現在

2.固定資産 基本財産 地方債 東京都公募公債第619回 東京都公募公債第619回 京都市平成10年度第2回公募公債 東京都公募公債第512回 東京都公募公債第762回 埼玉県平成13年度第3回公募公債	10,000,000				
	3,000,000				
	11,000,000				
	2,230,000				
	10,000,000				
	5,000,000				
			41,230,000		
	その他の固定資産 支部・分科会活動支援基金 定額郵便貯金 敷金 神田駿河台日本化学会館3F 電話加入権 H18-01001752, H14-01002635	7,470,000			
	2,115,000				
	149,968				
		9,734,968			
固定資産合計			50,964,968		
資産合計				65,882,121	
2.負債の部					
1.流動負債					
前受金 会費収入前受(2006・2007年度分)	5,416,000				
		5,416,000			
預り金 源泉徴収税ほか 本部	50,147				
		50,147			
流動資産合計			5,466,147		
負債合計				5,466,147	
正味財産				60,415,974	
負債・正味財産				65,882,121	

社団法人 日本雪氷学会

監事

監事

3) 監查報告 別添

第2号議案 2006年度事業計画並びに収支予算書について

(1) 事業計画

1. 研究会等の開催

- 1-1. 2006年度全国大会を11月14～18日に秋田市で開催する(日本雪工学会と合同)。
- 1-2. 第17回雪崩対策の基礎技術研修会を開催する。
- 1-3. 公開シンポジウムを開催する(11月18日、科研費事業『雪と氷の大陸「南極」から地球環境をさぐる』)。
- 1-4. 「雪氷学セッション」を開催する(5月15日、日本地球惑星科学連合2006大会の中で)。
- 1-5. 各種講演会等の共催, 協賛, 後援を行なう。
- 1-6. 各支部・分科会等において研究会等を開催する。

2. 会誌等の刊行

- 2-1. 学会誌「雪氷」の第68巻3号～6号, 第69巻1号～2号を刊行する。
- 2-2. Bulletin of Glaciological Research (BGR) Vol. 24を刊行する。
- 2-3. 北海道支部で機関誌「北海道の雪氷」25号, ニュースレター(2回)を刊行する。
- 2-4. 東北支部で機関誌「東北の雪と生活」21号, ニュースレター(2回)を刊行する。
- 2-5. 北信越支部で機関誌「雪氷北信越」26号を刊行する。
- 2-6. 関東・中部・西日本支部で機関誌「雪氷フォーラム」8号, ニュースレター(1回)を刊行する。
- 2-7. 2006年度版雪氷ダイレクトリーを発刊する。
- 2-8. ホームページによる情報発信を行う。

3. その他の事業

- 3-1. 日本雪氷学会学会賞の表彰を行なう。
- 3-2. 中谷宇吉郎科学奨励賞の候補者を推薦する。
- 3-3. 4支部が各種活動を行なう。
- 3-4. 当法人に設置された分科会, 研究会が各種活動を行なう。
- 3-5. 井上フィールド科学研究基金による研究助成を行なう。
- 3-6. 従来の学会賞に加えて、新たに「論文賞」の創設を検討する。

4. 総務事項

- 4-1. 2006年度通常総会, 理事会ならびにその他会合を開催する。
- 4-2. 2007・2008年度役員選挙を行なう。
- 4-3. 各委員会が活動を行なう。

(各支部・分科会等の計画の詳細は別添を計画を参照)

2006年度支部・分科会等活動計画別添

北海道支部

1. 支部総会の開催 (札幌市)
2. 春の講演会の開催 (札幌市)
3. 研究発表会の開催 (札幌市)
4. 機関誌「北海道の雪氷」25号の刊行
5. ニュースレターの刊行 (2回)
6. 地域講演会の開催
7. 積雪観測研修会の開催 (札幌)
8. 理事会・幹事会等会議の開催
9. 支部ホームページの運営

東北支部

1. 支部総会の開催 (青森市)
2. 支部研究発表会の開催 (青森市)
3. 特別講演会の開催
4. 機関誌「東北の雪と生活」21号の刊行
5. ニュースレターの刊行 (2～3回)
6. 地方講演会の開催 (1～2回)
7. 見学会または雪に関する講習会の開催 (1～2ヶ所)
8. 理事会の開催
9. 東北雪氷賞選考委員会の開催
10. 2006年度東北雪氷賞の表彰

北信越支部

1. 支部総会の開催 (長岡市)
2. 研究発表会・製品発表検討会の開催 (長岡市)
3. 講演会の開催 (1回)
4. 見学会の開催 (新潟・長野地区, 富山・石川・福井地区で各1回)
5. 学習会の開催 (新潟地区, 長野地区, 富山地区, 石川地区, 福井地区で計5回)
6. 講習会の開催 (新潟地区, 長野地区, 富山地区で各1回)
7. 機関誌「雪氷北信越」26号の刊行
8. 2006年度北信越支部賞の表彰

9. 理事・幹事合同会議の開催（2回）
10. 顧問・評議員会の開催（1回）

関東・中部・西日本支部

1. 支部総会の開催（東京）
2. 関東分会雪氷サロン（3～4回）
3. 関西分会講演会（1回）
4. ニュースレターの刊行（1回）
5. 機関誌「雪氷フォーラム」第8号の刊行
6. 役員会（理事幹事合同会議）の開催（1～2回）
7. 各分会役員会の開催（随時）

氷河情報センター

1. 総会の開催
2. 雑誌「雪氷」ならびにWEBを通じての情報の提供
3. Bulletin of Glaciological Research (BGR)のバックナンバーの電子化
4. ミニシンポジウム開催の検討
5. 世界各地の氷河研究に関する資料等の収集
6. 氷河の研究・調査活動に対する援助と啓蒙

極地雪氷分科会

1. 総会の開催
2. ミニシンポジウムの開催
3. 各ワーキンググループによる研究推進
4. ホームページの充実

凍土分科会

1. 総会の開催
2. 講演会の開催
3. 凍土スモールセミナーの開催
4. ホームページの活用

雪崩分科会

1. 総会の開催

2. 研究会の開催
3. ニュースレター刊行 (2回)
4. 第17回雪崩対策基礎技術研修会の開催協力
5. 分科会会員に対する研究協力
6. 雪崩対策基礎技術研修会テキストの更新
7. 「雪氷」の雪崩特集号発行に対する協力
8. ホームページの充実と活用
9. メーリングリストの活用

雪氷物性分科会

1. 総会の開催
2. 雪氷物性シンポジウムの開催

衛星観測分科会

1. 総会の開催
2. 研究会の開催
3. 分科会会員の研究協力
4. 衛星データ利用情報の提供

雪氷工学分科会

1. 総会の開催
2. 雪氷工学の歴史を残す講演会 (第12回) の開催
3. 雪氷工学の歴史を残す講演会の講演記録編集
4. 「雪氷工学の歴史Ⅲ」の発行準備
5. 着氷雪研究会のフォローアップ
6. その他

雪氷化学分科会

1. 総会の開催
2. 講演会の開催
3. 雪氷化学研究集会の開催 (札幌市)
4. 分科会ホームページの更新
5. 雪合宿の実施

気象水文分科会

1. 総会の開催
2. 講演会の開催
3. ニュースレター刊行

吹雪研究会

1. 研究会の開催

(2) 収支予算

2006年度収支予算書(案)
通常会計
2006/04/01~2007/03/31

(単位円)

(収入の部)

科目	2006年度予算 (A)	2005年度予算 (B)	増減 (A)-(B)	備考
1. 基本財産運用収入	599,280	809,360	-210,080	
基本金利息	306,280	369,360	-63,080	
井上基金利息	293,000	440,000	-147,000	
2. 会費収入	12,818,600	13,522,500	-703,900	
正会員費会費	6,831,600	7,165,500	-333,900	
特別会員費	640,000	750,000	-110,000	
賛助会員費	3,530,000	3,790,000	-260,000	
購読会員費	1,692,000	1,692,000	0	
分科会員費	125,000	125,000	0	
支部会員費	0	0	0	
3. 事業収入	8,550,000	8,725,000	-175,000	
全国大会収入	3,000,000	3,000,000	0	
研修会収入	1,120,000	1,135,000	-15,000	
広告収入	1,120,000	440,000	680,000	
出版収入	3,310,000	4,150,000	-840,000	
4. 助成金	1,000,000	1,000,000	0	
公開シンポジウム	1,000,000	1,000,000	0	
5. 内部移管勘定	1,542,000	1,360,000	182,000	
交付金支部収入	1,192,000	1,310,000	-118,000	
事業収支差額(収入)	50,000	50,000	0	
広告支部受取り金	0	0	0	
雪崩分科会	300,000	0	300,000	
6. 資産勘定からの繰入	1,060,000	0	1,060,000	
活動支援基金からの繰り入	1,060,000	0	1,060,000	
その他	0	0	0	
7. 雑収入	311,416	442,387	-130,971	
中谷奨励賞選考委託	300,000	300,000	0	
受取利息	1,416	2,387	-971	
雑収入	10,000	140,000	-130,000	
当期収入合計 a	25,881,296	25,859,247	22,049	
前期繰越収支差額	7,884,212	16,801,831	-8,917,619	
収入合計 b	33,765,508	42,661,078	-8,895,570	

(単位円)

(支出の部)

科目	2006年度予算 (A)	2005年度予算 (B)	増減 (A)-(B)	備考
1. 事業支出	14,183,000	16,988,000	-2,805,000	
全国大会支出	2,500,000	3,000,000	-500,000	
研修会等支出	2,760,000	2,735,000	25,000	
出版支出	7,852,000	10,003,000	-2,151,000	
賛助配布予稿集	153,000	200,000	-47,000	
中越地震調査委員会	0	100,000	-100,000	
学会ホームページ	92,000	0	92,000	
褒賞費	136,000	210,000	-74,000	
研究助成費	690,000	740,000	-50,000	
2. 管理費	11,300,810	12,074,510	-773,700	
事務費	2,211,010	2,064,510	146,500	
給与等件費	3,610,000	4,020,000	-410,000	
家賃・共益費	2,922,000	3,292,000	-370,000	
委員会費	1,138,960	1,218,000	-79,040	
会議費	1,103,840	1,290,000	-186,160	
役員選挙費	147,000	0	147,000	
支払い手数料	112,000	135,000	-23,000	
雑費	56,000	55,000	1,000	
3. 内部移管勘定	1,542,000	1,360,000	182,000	
交付金本部支出	1,192,000	1,310,000	-118,000	
事業収支差額(支出)	50,000	50,000	0	
広告支部受取金	0	0	0	
雪崩分科会	300,000	0	300,000	
4. 資産勘定への繰入	0	0	0	
当期支出合計 c	27,025,810	30,422,510	-3,396,700	
当期収支差額 a-c	-1,144,514	-4,563,263	3,418,749	
次期繰越収支差額 b-c	6,739,698	12,238,568	-5,498,870	

M E M O